

令和4年度第3回甲賀市介護保険運営協議会 概要報告

1. 開催日時 令和5年3月24日（金）
午後2時00分～午後3時45分まで
2. 開催場所 あいこうか市民ホール 展示室
3. 出席者
委員 栗田会長、今村委員、本居委員、山形委員、前川委員、小川委員
葛江委員、西野委員、大矢委員、橋本委員、松宮委員、西澤委員
北村委員
(出席13名・欠席3名)
事務局 健康福祉部 次長 伴統子
長寿福祉課 課長 松井章
参事 大西裕紀子
課長補佐 久保友幸、森地真弓
係長 近藤紀子、前田真美、山本好美、奥村直美
主任保健師 西田薫
受託業者 株式会社ぎょうせい
4. 傍聴 無
5. 会議次第
 1. 開会
会長あいさつ
 2. 報告
(1) 令和5年度介護保険特別会計予算について
(2) 令和5年度地域包括支援センターの委託計画について
 3. 議事
(1) 介護保険事業計画作成のための地域分析・検討結果記入シートについて
(2) 第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定にかかる調査結果について
 4. その他
令和5年度会議について
 5. 閉会
健康福祉部次長あいさつ

6. 配布資料

【資料1】令和5年度介護保険特別会計予算について

【資料2】令和5年度地域包括支援センターの委託計画について

【資料2-1】土山地域包括支援センターの委託に伴う人員配置基準の変更について

【資料3】介護保険事業計画作成のための地域分析・検討結果記入シート

- ・甲賀市第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定に係る高齢者等実態調査 結果報告書
- ・甲賀市第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定に係る介護サービス提供事業者・ケアマネジャー実態把握調査 結果報告書

7. 議事の概要

報告

(1) 令和5年度介護保険特別会計予算について

事務局 資料1に基づき説明

会長 ただいま説明いただきました件について、ご意見、ご質問等がございましたら挙手をお願いします。

委員 3ページの認定者数について令和4年が少なくなっているのは、コロナの影響と考えて良いか。

事務局 1月になり新規申請も増えていることからコロナの影響ではないかと考えている。

(2) 令和5年度地域包括支援センターの委託計画について

事務局 資料2に基づき説明

会長 ただいま説明いただきました件について、ご意見、ご質問等がございましたら挙手をお願いします。

意見・質問等なし

議事

(1) 介護保険事業計画作成のための地域分析・検討結果記入シートについて

事務局 資料3に基づき説明

会長 ただいま説明いただきました件について、ご意見、ご質問等がございましたら挙手をお願いします。

意見・質問等なし

(2) 第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定にかかる調査結果について

- 受託業者 甲賀市第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定に係る高齢者等実態調査 結果報告書に基づき説明
- 会 長 ただいま説明いただきました件について、ご意見、ご質問等がございましたら挙手をお願いします。
- 委 員 在宅介護実態調査の未回答の方の介護度の分類は。
- 事務局 配布数と回収数の差が未回収となる。介護度不明の方がいるので数字が合わないが、要介護1が212人、要介護2が114人、要介護3が92人、要介護4が66人、要介護5が20人である。
- 委 員 未回収の方の介護度が分かっていたら後の集計の中に入れて隠れたものが出てくるのではないかと。回収率が58.3%あるが、本当の細かい実態は分からないのではないかと。
- 受託業者 郵送によるアンケートで100%の回収率は難しい。そのために介護度別など細かくクロス集計をしそれぞれの介護度の傾向を出すようにしている。
- 委 員 前に悉皆調査した場合でも有効な回答は同じくらいであったので、今回もそれなりのものではあると思うが、隠れたところが分かるかと思った。
- 受託業者 一般的にアンケート調査は回答数が400程度あれば優位性は十分と言われているので、回収数としては十分と考えている。
- 会 長 アンケートとしてはこのようになるが、未回答の方もいるのでケアマネジャーのアンケートや実際に事業をする中で専門家の方が聞いたことをくみ上げるための参考としてこのようなデータがある。参考にしつつ漏れていることをすいあげていくことが大切である。
- 委 員 82ページのn=693と89ページのn=698と回答数が違うのはなぜか。
- 受託業者 在宅介護実態調査は整理番号により認定情報と接続して分析をするが、整理番号のところを破ったり塗りつぶしたりした方の基本属性は不明であるため5人誤差が出ている。
- 委 員 10ページの家族構成のところでは1人暮らしで主な介護・介助者が2人あるが、これはどのように考えたらよいか。
- 受託業者 アンケートなので想像にはなるが1人だけ別のところに住んでいるということだと思う。

委員 13ページの最期を迎えたいと思う場所の一般高齢者の結果はあるが、在宅介護実態調査の中にはこの質問はないがなぜか。

事務局 ニーズ調査の看取りの設問は、市独自の設問として追加している。今後、ご本人がどうしたいかを今はまだ元気な高齢者に質問している。

委員 要介護の方の意向はわからないのではないかと。25年の調査の時には、65歳以上の方の50%が自宅で最期を迎えたいと考えているが、介護を受けている人は65%が自宅で最期を迎えたいとしている。とするとなぜ今回、同じ設問を入れなかったのか。自宅で最期を迎えたいというのが本人の一番の希望だが、実際に自宅で亡くなるというのは数字が逆になる。自宅で最期を迎えた方に対して、どのようにすることが自宅で最期を迎える方法ですよということが、アンケートの結果からアドバイスをされるんですね。アンケートの結果とそれに対する考察が必要ではないか。

事務局 自宅で最期を迎えたい方に対して、どのような施策をするべきか、今後会議で意見を聞きながら計画に反映していきたいと考えている。

委員 実際に自宅で亡くなった時はどうしたらいいのか。警察を呼ぶのか救急車を呼ぶのかなどのハウツーを結果の考察に入れてほしい。

会長 在宅介護実態調査の項目は以前の会議で決まったので今からはできないが、次の調査の時の参考にさせていただくが、一方で質問項目が大変多くあまり多くなると回収率も悪くなるので、それも含め次回に検討したい。報告書のあり方について、結果で終わるものと考察まで入れるものがあるが、甲賀市の場合は数字などの結果のみを記載するのが報告書で計画の方で考察をすることでよいか。

事務局 今回の報告書には、結果のみを記載することを考えている。さらに細かい分析については、これから入らせていただき、委員の皆様にもお示しして計画に載せていきたい。

受託業者 甲賀市第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定に係る介護サービス提供事業者・ケアマネジャー実態把握調査 結果報告書に基づき説明

会長 ただいま説明いただきました件について、ご意見、ご質問等がございましたら挙手をお願いします。

委員 ケアマネジャー調査で今回も自由記述でたくさん問題が出ている。前回と比較して同じ結果が出ているということは改善されていないということ。対応を考えてほしい。

事務局 自由記述は施策や改善の参考とし対応していきたい。

委員 今後、計画の策定にあたって、40ページに地域包括支援センターとの連携の項目があるが、今後委託の包括も含め質の担保のため基幹型包括やバックアップの部署をどのように考えているか。また、11・12ページで縮小・中止を考えている事業所がある。1つには、ケアマネジャーの不足があるが、市独自のケアマネジャー支援を考える時期に来ていると考えられるので検討をしてほしい。

事務局 委託をしている地域包括支援センターについては、常に連携するよう地域包括支援室で対応している。これを場所ということ考えると地域包括支援室では難しいことは課で共有をしている。8期計画でも検討していくよう記載されており9期に向けて検討していきたい。

委員 介護保険制度について思うことがある。1つ目は介護認定の有効期間が延びていることについて、年齢に関係なく36か月、48か月もあるので考えてほしい。2つ目は健康こうか21計画の健康寿命について、市の計画は国保データベースの数字を使用している。厚生労働省のデータと数字が違うのでナンセンスである。3つ目は介護保険料について、段階の境目では所得が少し違うだけで介護保険料が大きく違う。同じ県で同じ所得でも市によって介護保険料が違うので、累進課税など介護保険料を検討してほしい。4つ目は特別養護老人ホームの入所について、入所を希望する人が多い。入所を県が把握するのが平等であると考え。5つ目は人権について、例えば本人が食べることを拒否したら意思表示したのに無理やり食べさせるのは虐待になるのではないか。どこで最期を迎えるのか、元気な時に考えるよう導いていかないと介護保険はつぶれてしまうと思う。

事務局 これまでの意見を踏まえ9期で検討できるものはあげていき、研究として必要なものは調査していく。

会長 意見をもとに事務局の案を考え、意見をどのように反映したかを分かりやすく資料として見られるようにすればこの資料も役立つと思うのでぜひ活用してほしい。

副会長 より良い介護保険制度を構築していくことが目標なのでよろしく願います。

・その他

会長 事務局は何かありますか。

事務局 令和5年度の予定について、3月末で委員の改選となる。今年度実施した調査や介護保険運営協議会でこれまでの意見を踏まえ、令和5年度は、計画の内容を協議いただくため6回程度会議を予定している。

・ 会議内容の公開又は非公開について

事務局 本日の会議内容の公開・非公開について、当協議会は市の附属機関にあたるので公開が原則となる。本日の会議で個人情報等非公開にしなければならない内容は含まれていないのですべて公開とし、議事録での発言者は個人名ではなく委員として公開することとしてよろしいか。

委 員 了承